2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　ユキグニファクトリー株式会社　上場取引所　東
コード番号　1375　ＵＲＬ　https://www.yukiguni-factory.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）湯澤　尚史
問合せ先責任者　（役職名）経営企画本部長 兼 経営企画部長 兼 IR・広報部長　（氏名）岩谷　俊一郎　ＴＥＬ　025（778）0162

半期報告書提出予定日　2026年11月９日　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	23,491	18.8	1,749	305.2	1,633	332.9	1,022	-	1,022	-	1,013	874.9
2026年３月期中間期	19,773	△8.3	431	△67.2	377	△67.9	75	△89.8	81	△89.0	103	△85.7

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	25.63	25.63
2026年３月期中間期	2.05	2.05

（参考）

	売上収益		コア営業利益		コアEBITDA		コアEBITDAマージン
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%
2027年３月期中間期	16,482	10.2	727	572.5	1,928	56.9	11.7
2026年３月期中間期	14,959	△0.2	108	△46.4	1,228	△10.3	8.2

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	37,638	15,037	15,037	40.0
2026年３月期	37,686	14,770	14,770	39.2

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	-	4.00	-	19.00	23.00
2027年３月期	-	5.00			
2027年３月期（予想）			-	15.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,910	6.5	4,140	△4.1	3,950	△5.8	2,540	△14.0	2,540	△14.1	63.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）

	売上収益		コア営業利益		コアEBITDA		コアEBITDAマージン
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%
通期	39,640	4.7	3,960	△4.3	6,450	0.4	16.3

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	39,910,700株	2026年３月期	39,910,700株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	7,094株	2026年３月期	27,878株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	39,878,620株	2026年３月期中間期	39,878,095株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（その他特記事項）

（１）当社グループは、国際会計基準（以下「ＩＦＲＳ」という。）を適用しております。

（２）コア営業利益＝営業利益 － IAS第41号「農業」適用による影響額 － その他の収益及び費用 － 一時的な収益及び費用

（３）コアEBITDA＝コア営業利益 ＋ 減価償却費及び償却費

（４）コアEBITDAマージン＝コアEBITDA ÷ 売上収益

（５）IAS第41号「農業」適用による影響額とは、IAS第41号「農業」を適用し、きのこの生産工程である仕込みから収穫時までのきのこを生物資産として、売却費用控除後の公正価値で測定するものであり、当該公正価値の変動による利得及び損失を影響額としております。

（６）その他の収益及び費用とは、主に減損損失、固定資産除却損等となります。

（７）一時的な収益及び費用とは、通常の営業活動では発生しない一過性の収益及び費用となります。なお、前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間において、一時的な収益及び費用の発生はありません。

（８）コア営業利益、コアEBITDA及びコアEBITDAマージンはＩＦＲＳにより規定された指標ではなく、投資家が当社グループの業績を評価する上で、当社グループが有用であると考える財務指標であります。当該財務指標は、非経常的損益項目及び競合他社に対する当社グループの業績を適切に示さない項目の影響を除外しております。なお、コア営業利益、コアEBITDA及びコアEBITDAマージンは、ＩＦＲＳに準拠して表示された他の指標の代替的指標として考慮されるべきではありません。当社グループにおけるコア営業利益、コアEBITDA及びコアEBITDAマージンは、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があり、その結果、有用性が低下する可能性があります。

（決算補足説明資料（決算説明資料）及び決算説明会内容の入手方法について）

決算補足説明資料（決算説明資料）は、ＴＤｎｅｔで開示するとともに、2026年11月６日付にて当社ウェブサイトに掲載しております。